



事務連絡
令和4年12月26日

各都県御担当者 殿

関東農政局生産部畜産課
課長補佐（草地補佐）

草地生産性向上対策事業及び草地難防除雑草駆除技術等実証事業に係る
要望調査の実施について

平素から、事業の実施に特段のご高配を賜り、感謝申し上げます。
さて、今般、令和5年度当初予算案及び令和4年度補正予算に標記の事業を計上した
ところ です。

これらの事業については、予算が成立した際には速やかに事業執行する必要があること
や、両事業の取組に関連性があること等を踏まえ、要望調査を実施することといたし
ました。

つきましては、下記に基づき、要望の取りまとめをお願いします。

記

- 1 調査対象事業：（1）草地生産性向上対策事業のうち
リスク分散型草地改良推進（令和5年度当初）
（2）飼料自給率向上総合緊急対策事業のうち
草地難防除雑草駆除技術等実証（令和4年度補正）
①草地難防除雑草駆除技術実証
②高品質 TMR 供給支援対策（一部要件見直し）
- 2 提出様式：別添 Excel ファイルのとおり
- 3 参考資料：別添のとおり
- 4 提出期限：令和5年1月18日（水）
- 5 提出先：関東農政局畜産課
河田（takahiro_kawada700@maff.go.jp）
（同報で 草地補佐 入江（hiroshi_irie970@maff.go.jp）宛てにも送信
願います。）



○ 畜産生産力・生産体制強化対策事業のうち草地生産性向上対策のうち
リスク分散型草地改良推進

【令和5年度予算概算決定額 343 (438) 百万円の内数】

＜対策のポイント＞

安定的に高収量を確保する飼料生産を推進し、飼料自給率の向上と畜産物の安定供給を図るため、不安定な気象に対応したリスク分散等の取組を支援します。

＜事業目標＞

- 飼料自給率：25%→34% [平成30年度→令和12年度まで]

＜事業の内容＞

1. 高位安定生産草地等への転換への支援
 不安定な気象に対応したリスク分散等により安定的に高収量を確保するための下記の草地改良の取組等を支援します。

＜取組事例＞

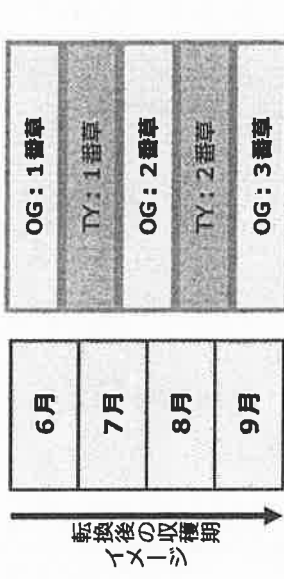
- 収穫適期の拡大
 - ① 収穫適期の異なる草種（品種）の作付体系の導入
 - ② 多回刈りが可能な草種への転換
- 気候変動に対応した優良品種等の導入
 - ① 越冬性等に優れた高栄養価のママ科牧草（ガレガ）の導入
 - ② 耐倒伏性の優れた品種への転換

2. 上記の取組に必要な土壌分析、堆肥分析、飼料分析、概況調査、技術普及等の取組を支援します。

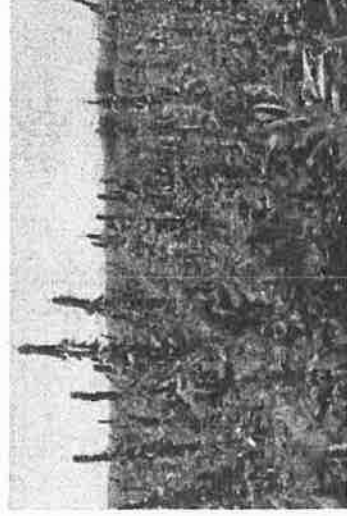
＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞



○ 複数草種等の導入により収穫適期拡大



○ 越冬性等に優れたガレガ

草地生産性向上対策のうちリスク分散型草地改良推進

<対策のポイント>

安定的に高収量を確保する飼料生産を推進し、飼料自給率の向上と畜産物の安定供給を図るため、不安定な気象に対応したリスク分散等の取組を支援

<現状・課題>

近年の地球温暖化により、
 ・集中豪雨や長雨の発生による生育の抑制
 ・台風の強大化による倒伏被害等の発生
 が増加しており、飼料作物の単収や品質が低下。



・気候変化に強い品種・栽培技術の導入
 ・収穫適期の異なる品種の導入
 等の取組が求められる。



近年の不安定な気象で
 収量が安定しない
 対策を検討しなければ...

<事業の内容>

1. 高位安定生産草地等への転換への支援
 不安定な気象に対応したリスク分散等により安定的に高収量を確保するための
 下記の草地改良の取組等を支援

(1) 収穫適期の拡大

- ① 収穫適期の異なる草種(品種)の作付体系の導入
- ② 多刈りが可能な草種への転換

(2) 不安定な気象、労働力不足等に対応した播種時期の分散

- ① 初冬季播種(フロストシーディング)の導入
- ② 麦類同伴播種の導入

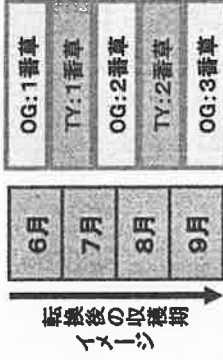
(3) 気候変動に対応した優良品種等の導入

- ① 耐倒伏性の優れた品種への転換
- ② 越冬性等に優れた高栄養価のママ科牧草(ガレガ)の導入

(4) 圃場の排水性、栽培方法の改善

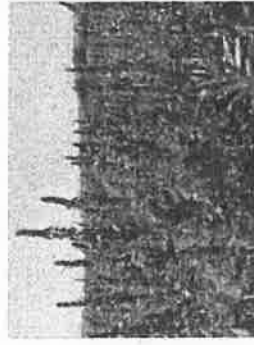
- ① サブソイラ等による耕盤層の破砕により圃場の排水性改善
- ② 倒伏低減のための栽培方法(採植密度等)の改善

2. 上記の取組に必要な土壌分析、堆肥分析、飼料分析、概況分析、技術普及等への支援



(注)OG:オーチャード、TY:チモシー

○複数草種等の導入により収穫適期拡大



○越冬性等に優れたガレガ



○サブソイラ等による耕盤層の破砕

○ 飼料自給率向上総合緊急対策のうち国産飼料の生産・利用拡大事業のうち
草地難防除雑草駆除技術等実証

【令和4年度補正予算額 3,044百万円の内数】

＜対策のポイント＞

高品質な畜産物生産に必要な良質粗飼料の増産・供給のため、特に防除の難しい難防除雑草の駆除技術の実証等や、高品質な完全混合飼料（TMR）の安定供給を図る取組を支援します。

＜事業目標＞

飼料自給率の向上（25% [平成30年度] → 34% [令和12年度まで]）

＜事業の内容＞

1. 難防除雑草駆除技術の実証等

- ① 特に防除の難しい難防除雑草について、難防除雑草駆除計画を策定した農業者団体等が行う難防除雑草駆除技術（除草剤散布、耕起、砕土、整地、施肥、土壌改良資材の投入、優良品種の導入等）の実証の取組を支援します。
- ② 牛乳乳製品等の品質向上に向け、TMRセンターにおけるTMR生産のための難防除雑草駆除の取組を支援します。

2. 高品質TMR供給支援対策

TMRの品質改善計画を策定したTMRセンターが、TMR原料の品質向上技術実証のために行うバンカーサイロの床面等の補改修を支援します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

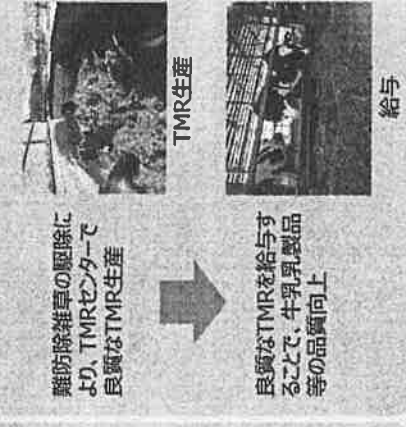
1. 難防除雑草駆除技術の実証等

① 特に防除の難しい難防除雑草駆除技術の実証

＜特に防除の難しい難防除雑草の例＞

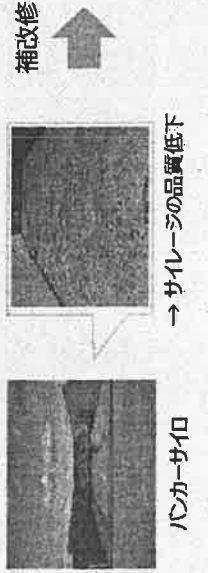


② TMR生産のための草地の難防除雑草駆除



2. 高品質TMR供給支援対策

＜サイレージの酸によりエングリートが劣化＞



【お問い合わせ先】 畜産局飼料課（03-6744-2399）

草地難防除雑草駆除技術実証 ①難防除雑草駆除技術の実証

- 近年、メドウフオックステイル等の特に防除の難しい難防除雑草が草地への侵入を拡大しており、牧草の品質・収量に大きな影響を与えていることから、早期に防除を進めることが必要。
- このため、特に防除の難しい難防除雑草に事業対象を重点化し、難防除雑草駆除技術の実証を支援。

<事業の流れ(事業主体)>



<事業参加者>

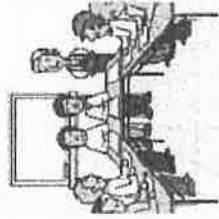
農業者団体を構成する農業者等(3戸以上)

<事業の内容>

【1. 計画の策定等】

■ 難防除雑草駆除計画の策定 (補助率: 定額)

- ・ 難防除雑草の繁茂状況
- ・ 駆除のための具体的対策
- ・ 事業効果の普及の取組 等



■ 調査分析 (補助率: 1/2以内)

土壌分析、堆肥分析、飼料分析、概況調査

【3. 対策の活用・普及】

■ 対策の活用・普及 (補助率: 定額)

- ① 看板設置によるほ場展示、② 研修会、③ パンフレット配布、④ ホームページへの取組事例の掲載 等

※①及び②～③のうち1つ以上の取組を実施

【2. 草地の改良】

■ 高位生産草地への転換 (補助率: 1/2以内)

難防除雑草駆除計画に基づき行う、高位生産草地への転換

(除草剤散布、耕起、碎土、整地、施肥、土壌改良資材投入、優良品種の導入等による施工)

※事業対象となる難防除雑草

メドウフオックステイル、ハルガヤ、ワルナスビ、ワラビ、アザミ類 等

<難防除雑草駆除対策例>

- ・ 除草剤を播種前年に前植生処理1回、翌年に播種床処理2回行うなどにより、草地から高位生産草地に転換
- ・ 他の作物を2年以上作付け、その間に除草剤処理を実施。その後、高位生産草地に転換



難防除雑草の繁茂しない生産性の高い草地への転換が、牧草の単収向上に重要。

良質粗飼料の増産・供給により、畜産・酪農の生産基盤を強化

草地難防除雑草駆除技術実証 ②TMR生産のための難防除雑草駆除

- TMRセンターで管理する草地の一部に難防除雑草が繁茂している場合、牧草の共同生産・利用により、牧草の品質・収量が低下し、TMRセンターで生産するTMRの品質、さらにはTMRセンター構成員の生乳生産等に大きな影響。
- このため、TMRセンターにおける高品質なTMR生産に必要な難防除雑草の駆除と、その侵入・拡大を防止する技術のモデル実証の取組を支援。

＜事業の流れ(事業主体)＞



＜事業参加者＞

TMRセンターの構成員である農業者等(3戸以上)

＜事業の内容＞

【1. 計画の策定等】

- 難防除雑草駆除計画の策定 (補助率: 定額)
- ・ 難防除雑草の繁茂状況
- ・ 駆除のための具体的対策
- ・ 難防除雑草の侵入・拡大防止に向けた取組 (収穫するほ場の順番、作業機械の清掃、スラリ散布の方法、適正施肥、圃場の長期的な利用計画作成 等)
- ・ 事業効果の検証の取組 等



■ 調査分析 (補助率: 1/2以内)
 土壌分析、堆肥分析、飼料分析、概況調査

【2. 草地の改良】

- 高位生産草地への転換 (補助率: 1/2以内)
- ・ 難防除雑草駆除計画に基づき行う、高位生産草地への転換(除草剤散布、耕起、碎土、整地、施肥、土壌改良資材投入、優良品種の導入等による施工)
- ・ 難防除雑草の侵入・拡大防止に向けた取組の実践

※事業対象となる難防除雑草

モドウフックステイル、ハルガヤ、シバムギ、ギシギシ類 等



【3. 効果の検証】

- 事業効果の検証 (補助率: 定額)
 - ① 検討会議の開催 (構成員、TMRセンター、農協、普及センター等)による事業効果(牧草の単収、TMRの品質、乳量等)の検討)
 - ② 研修会の開催
 - ③ 優良事例集の作成、ホームページへの掲載
- ※①及び②～③のうち1つ以上の取組を実施



良質粗飼料の増産・供給を図り、輸出にも対応可能な高品質な畜産物の生産に寄与

- 完全混合飼料(TMR)の原料となるサイレージを生産する際、バンカーサイロの床面の腐食等による品質低下や異物混入などが課題。
- TMRの品質改善計画を策定したTMRセンターが、当該計画に基づき行うバンカーサイロ補改修の取組等を支援。

<事業の内容>

【1. 計画の策定等】

■ TMRの品質改善計画の策定

■ 飼料分析 (補助率: 1/2以内)
サイレージの品質評価スコア値等
(対策後はスコア3ポイント以上増)



【3. 技術の普及】

■ 技術の普及 (補助率: 定額)
研修会、マニュアル作成・配布等

<事業の実施基準>

・バンカーサイロの床面等の補改修(2の(1))の場合、国の補助事業により整備したバンカーサイロであって処分制限期間内のものは助成の対象外。

【2. 補改修の取組等】

■ 補改修の取組等 (補助率: 1/2以内)
品質改善計画に基づき行う以下の補改修等の取組

- (1)バンカーサイロの床面等の補改修
- (2)TMR原料の品質向上のための技術実証
 - ①原料となる飼料作物の種類
 - ②原料の詰込・調製方法
 - ③密閉度を高めるためのサイロ床面等の加工
 - ④調製用資材
 - ⑤その他品質に影響する要素



補改修

長年の利用によりバンカーサイロ床面のコンクリートの劣化
→密閉性の低下・異物混入によるサイレージの品質低下



密閉性の向上・異物混入が無くなる等による高品質サイレージ生産

TMRの高品質化により飼料基盤に立脚した足腰の強い畜産経営を実現